



室町幕府八代將軍足利義政が建立した寺院。金閣寺同様、相国寺の塔頭。足利義満が好んだ華美で貴族的な北山文化とは対象に、わび・さびを美とする東山文化を代表する建築である。

平安京の守護神として創建された。

京都大学の哲学者、西田幾多郎や田辺元らがよく思索しながら歩いていたことから、哲学の道という名がつけられた。法然院の近くに西田の歌碑が建てられている。

法然が開いた最初のお寺。新撰組が本陣を置いたことでも知られている。

平安遷都1100年を記念して、明治28年に創建された神社。京都の歴史の中では、まだできたばかりと言ったところだろうか。

法然の弟子と、松虫姫・鈴虫姫の悲話が始まった草庵を復元し安楽寺となった。紅葉の名所。

紅葉の名所として人気が高い。御本尊の「みかえり阿弥陀像」が美しい。

歌舞伎の「楼門五三桐」(さんもんごさんのきり)に登場する南禅寺山門。石川五右衛門がここから満開の桜を眺め「絶景かな絶景かな」と言っている。

銀閣寺 (慈照寺)
椿の名所、4月上旬が見頃。

哲学の道

禅林寺 (永観堂)

南禅寺

大文字 (東山如意ヶ嶽)

五山送り火の一つ



銀閣寺・哲学の道・南禅寺map

旅をおもしろくする観光地図 | 今八

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)を使用した。(承認番号 平 30 情使、第 853 号)